

令和6年2月26日
大臣官房参事官(イノベーション)
総合政策局技術政策課

長時間連続飛行ドローンの実証実験第二弾を開催 ～災害現場や建設現場で効果的なドローンの実装化を目指します～

国土交通省では、「行政ニーズに対応した汎用性の高いドローンの利活用等に係る技術検討会」を踏まえ、「インフラ管理、災害対応等に活用できる長時間飛行ドローンの実装化に参画する企業」の募集を行ってきました。令和5年5月には荒川第二調整池予定地にて長時間飛行ドローンの実証を行ったところですが、第二弾として、別途応募のあった機体について、長時間連続飛行の実証実験を行います。つきましては、本実証実験の見学会を開催します。なお本実証は当初2月26日、27日に予定していたものを延期したため、今般改めて開催するものです。

(I) 実証実験について

1. 日時と場所

- ・令和6年2月28日(水)～29日(木)
- ・福島県ロボットテストフィールド浪江滑走路周辺地域

2. 実証内容

- 28日: レーザ一点群測量も実施し2時間以上の連続飛行
 - 29日: 軽ペイロードで、海岸上空などを4時間程度※の連続飛行
- ※飛行後の残燃費より飛行時間を推定し、6時間为目标



実証機体(AeroRange G4-S)

(II) 見学会について

1. 日時と場所

- ・令和6年2月29日(木) 10:00～15:00
 - ・福島県ロボットテストフィールド浪江滑走路周辺地域
- ※タイムスケジュールは【別紙1】をご参照ください

2. 取材申し込みについて

- ・見学会は報道関係者のみを対象に公開します。
- ・取材を希望される方は、【別紙2】に基づき電子メールにてご登録下さい。
- ・現場受け入れ体制の都合上、申し込み多数の場合は先着順とさせていただきます。



実証現場(福島ロボットテストフィールド)

【問合せ先】

- ・大臣官房参事官(イノベーション) 施工企画室 林・永井(本実証実験全般について)
電話: 03-5253-8111(内線22432・22433)、03-5253-8286(直通)
- ・総合政策局技術政策課 寺園・大崎
(「行政ニーズに対応した汎用性の高いドローンの利活用等に係る技術検討会」について)
電話: 03-5253-8111(内線25651・25634)、03-5253-8950(直通)

見学会スケジュール概要

○日時

2月29日（木）10時～15時

○タイムスケジュール

10:00 取材受付開始（福島 RTF 浪江滑走路）

10:30 開会挨拶

11:00 フライト開始（12時頃までは海岸線を飛行）

海岸線に移動し、飛行状況を公開予定

12:00 ～ 海岸線飛行後、滑走路を飛行

（滑走路にもどり、囲み取材、質問など）

15:00 フライト終了

※当日の進行状況によって、上記スケジュールの時刻や
順番は前後する場合があります。

取材申し込みについて

○連絡先

hqt-drone-gicho@gxb.mlit.go.jp

○申込み期限

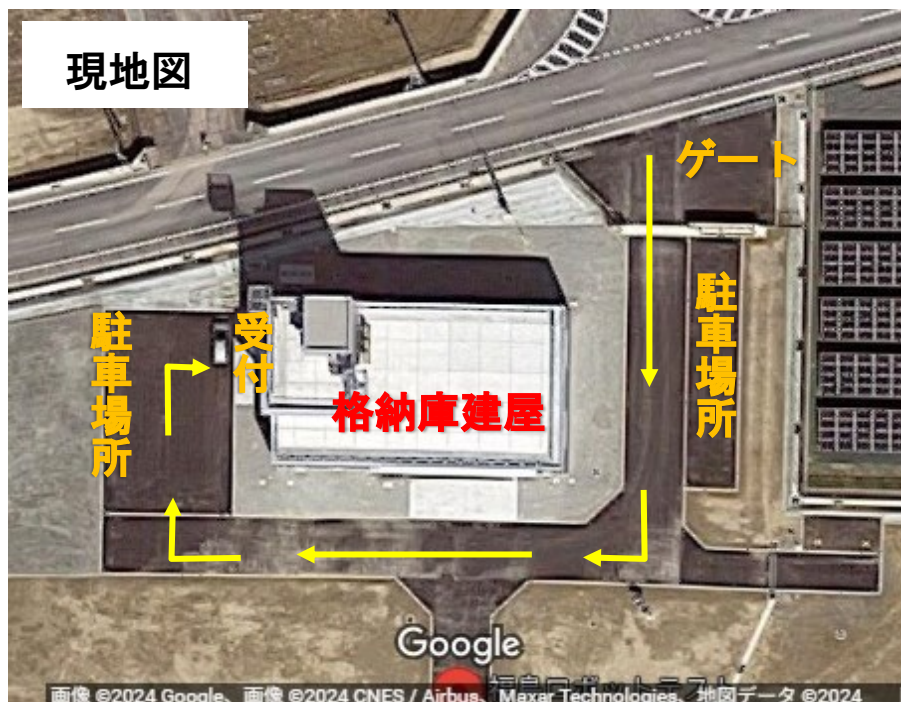
令和6年2月27日（火）15:00 まで

○登録内容

メールの件名に「実証実験取材希望」と明記のうえ、本文に①社名、②氏名、③連絡先（携帯電話番号、メールアドレス）、④大型撮影機材（テレビカメラ等）持込みの有無、並びに⑤ご来場方法（自動車でご来場予定の場合は台数と車種）を記載願います。

○留意事項

- ・当日は下記受付までお越し下さい
- ・移動手段の用意はございませんので、各自ご準備のうえお越し下さい
なお、駐車スペースは下記指定場所をご利用いただけます
- ・天候等により中止する場合は、事前に事務局より携帯電話にご連絡させていただきます
- ・その他不明点等ございましたら、上記メールアドレスまでお尋ねください



長時間飛行ドローンの実装化に参画する企業を募集

国土交通省の現場では、災害時の被災状況調査、建設現場での測量、インフラ施設の点検等でドローンを活用している。今後の**火山等の遠隔地や危険地域への飛行**や**現場の測量等**、**長時間の飛行を必要とする運用**を想定し、国土交通行政で活用できるドローンの実装化を進めるため、国土交通省の現場を活用した実証に参加するドローンを募集。

【公募内容】

○所管施設の点検・測量を目的として以下の技術開発を募集

- ①映像を通信装置で伝送／画像を撮影しデータを記録しながら6時間以上自律飛行を行う。
- ②レーザー測量を2時間以上実施しながら自律飛行を行う。
- ③その他、IMU/GNSS等による自動自律飛行、FPV対応、エンジン停止時の安全性、セキュリティリスク、サプライチェーンリスクへの対応などのリクワイアメントを提示

【募集期間】

令和4年12月16日（金）～令和5年9月29日（金） 18時（最終締切り）

→株式会社エアロジーラボ より応募あり

【実証】

- 場所 福島ロボットテストフィールド浪江滑走路周辺地域
- 日時 令和6年2月28日、29日

【評価】

実証結果は国土交通省HPにて公表予定

AeroRange G4-S



AeroRange G4-S スペック

サイズ	直径約1,280mm
機体重量	12.3kg
最大ペイロード	7.0kg
最大飛行時間	200分 (ペイロード5kg→約60分)

※開発中のため、数値は変更の可能性があります。



①長時間の自律飛行

海岸線上空の飛行エリア内を含む飛行ルートを実験飛行。
パイロット状態で4時間程度の飛行を行う。

※残燃料を計測し、飛行可能時間の算出を予定。

②長時間の自律飛行（測量）

浪江滑走路をレーザー測量機を搭載しデータを取得。
2時間程度の飛行が可能か検証を行う。

③映像伝送等の実証

飛行中に撮影している画像（動画）について、リアルタイムで遠隔地へ中継することが可能かを検証を行う。 ※詳細は応募事業者と調整中